

そこが聞きたい!! 一般質問



地域活動の拠点となる 自治会館の安全性確保

内藤 光雄 (新政みらい)

今回の主なテーマ

- ▶ 老朽化が進む自治会館
- ▶ 自治会館の安全性向上
- ▶ 狭山市の魅力の開拓と発掘

建物の所有区分を調査した。また、整備状況は、狭山市コミュニティ施設特別整備事業補助金を活用した場合は把握している。

② 建て替えには予算措置を講じていくが、自治会との整合性もあり意見なども伺いたい。

◆ 狭山市の魅力の増進と活性化に向けた発信を

新たな魅力の開拓・発掘と効果的な発信は、**総合政策部長** 川のまるごと再生事業で、新たな魅力づくりを進めている。また、狭山元気大学など、多彩な個性と魅力ある人材を育成し新たな魅力の発掘を進めていく。情報は、広報さやまなどでの発信、また、マスメディアへの積極的な情報提供を行い、それらの連携により、効果的な魅力の発信に努めている。



老朽化が進む自治会館

◆ 自治会活動の活性化のための自治会館の機能的整備を

- ① 自治会館の老朽度や整備状況の把握は。
 - ② 自治会館の耐震工事や建て替えへの支援は。
- 市民部長** ①20年度に建築年月日、延べ床面積、構造と耐震の有無など、23年度には土地、

2020年開催 東京オリンピックに向けて

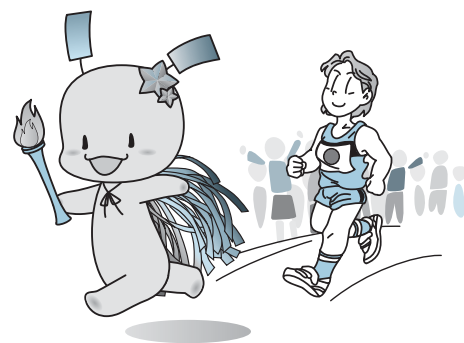
土方 隆司 (新政みらい)

今回の主なテーマ

- ▶ 狭山市の対応
- ▶ 代表選手の育成と支援
- ▶ シティプロモーションの推進

市をPRする方法の一つとして、ビデオの活用も検討する。また、狭山茶を利用したPRも、今後検討していく。

生涯学習部長 ②全国組織の競技団体が中心となって取り組んでいくと思われるが、市民の盛り上がりを喚起しながら応援していく。



◆ オリンピックに向けた狭山市の取り組み

- ① 狭山市とその周辺で競技が開催される予定だが、交通網の整備に対する考えは。
- ② 代表選手の育成に向けた狭山市の支援策は。
- ③ オリンピックを絶好の機会と捉え、市内各所に特設ブースを設け、市のPRとしてプロモーションビデオを放映したり、狭山茶を振る舞ったりしてはどうか。

総合政策部長 ①数々の課題が予想されるが、関係各市の協力と、国・県・市がすべきことを十分に協議し、解決に取り組んでいく。市道の整備が必要な場合には、市の負担が増えるため、整備に係る補助を国や県に要望していく。

③都市対抗野球でもプロモーションビデオを活用し、狭山市のPRを行っているので、狭山

常任委員会からの活動報告

12月定例会の常任委員会で審査した議案などの中から、概要をお知らせします。

総合窓口の業務開始で 市民サービスが向上

総務経済委員会

- ◆ 一般会計補正予算
 - Q 防犯灯と道路照明灯のLED化について、今後の考えは。
 - A 防犯灯は自治会が管理、道路照明灯は老朽化や新設時にLEDに交換している。電気料削減、環境負荷低減に有効で、費用対効果や事業手法なども検討していく。
- Q 上奥富堰災害復旧工事は、年度内に完了するののか。
- A 工事契約が1月下旬から2月上旬になる。工期は2カ月間となるが、年度内の竣工を目指す。



上奥富堰の被災状況を視察

- ◆ 所管事務調査
 - 【総合窓口業務の実施】
 - Q 証明発行窓口での事務処理の手順は。
 - A 住民票や戸籍の証明に加え、税証明も発行する。案内員の案内で、記載台の申請書に記入し、発券機で番号を取得していただく。その後、番号で呼び出し、申請を受けて証明書を交付する。
 - Q 発券機は全ての窓口を設置されるのか。
 - A 証明発行窓口と住民異動窓口で1台、保険年金課に1台、こども課、保育課の2課で1台の計3台を設置する予定。

市民が安心して 利用できる施設運営を

文教厚生委員会

- ◆ 指定管理者の指定
 - 「社会福祉会館」、「狭山台児童館」、「広瀬児童館」、「老人福祉センター」、「サピオ稲荷山」の5施設を審査しました。
 - Q サピオ稲荷山の利用率を5年後に28万4千人とする提案の内容は。
 - A 会議室などの利用率を上げる取り組みと、自主事業を充実させること。
- Q サピオ稲荷山の修繕料の費用負担区分を130万円以下に引き上げた理由は。
- A 管理者負担を上げ、利用者の要望や老朽化による修繕に素早く対応するため。

- ◆ 所管事務調査
 - ①「市立中学校の統廃合に関する検討協議の状況」、②「市立幼稚園の統廃合に向けた進捗状況」、③「市立保育所における防災への取組み」の調査を行いました。
 - ③では、東日本大震災から2年半以上が過ぎ、震災後の混乱の中での保育所運営の状況を改めて検証し、教訓を生かした保育所運営となるよう調査しました。



稲荷山環境センターの 更新に向けた体制作り

建設環境委員会

- ◆ 一般会計補正予算
 - Q 稲荷山環境センターの更新に向けた体制作りをどのように考えているのか。
 - A 現在、第1次改修計画に基づく修繕を実施している。26年度からは省エネルギーや補助金を導入した、新たな改修計画を5年間実施する予定があることから、この5年を見ながら、準備に取りかかりたい。
- Q 狭山市駅上諏訪線(中央児童館北側)の開通までの見通しは。
- A 27年度と28年度に用地取得と道路工事も含めて行い、29年度には完了したい。

- ◆ 廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部改正
 - Q 市街化区域の中に、汲み取り式の世帯は何件あるのか。
 - A 下水道処理区域での調査で、25年3月現在、236世帯が汲み取りを行っているが、その約半数が下水道処理区域にある。
- ◆ 市道路線の認定
住宅地の開発行為に伴い新設された、大字水野地内、根岸1丁目地内の道路の視察を、認定に先立ち行いました。



水野地内の認定箇所を視察

ここに掲載していない一般質問の質問と答弁の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページをご覧にならない方には、FAXまたは郵送でお届けしますので、議会事務局にご連絡ください。

☎04-2953-1111 内線3313